

12月のどきいふ

場内に美しいハーモニー

12月2日町民センターで第7回『コンサートinはやきた』が催され、女声合唱や混声合唱など美しいハーモニーが会場に流れていました。



遠浅自治会防犯活動開始

目ごろから交通安全の呼びかけや、子どもたちを狙った悪質な事件・事故を未然に防ぐため、活動を続けていた遠浅自治会（会長 右田時夫さん）。

12月5日、町から地域防犯活動団体として委嘱され、北海道警察に対し、青色回転灯設置のための申請を行なうこととなりました。

これにより遠浅自治会防犯部では、自家用車両に青色回転灯を装着した上で同地域並びに遠浅小学校を見守り活動を行なう予定です。



卒業記念作品展を開催中
ぬくもりの湯の展示コーナーでは現在、追分中学校3年生の卒業記念作品展を開催しています。入浴などで来館した方が立ち寄り、作品を鑑賞していました。
作品展は1月14日まで行なっていますので力作をぜひご覧ください。

追分昇龍館が「少年剣道教育奨励賞」を受賞

青少年の健全育成と正しい剣道の普及に対する日頃の活動が認められ、(財)全日本剣道連盟から追分昇龍館に対し「少年剣道教育奨励賞」が贈られました。

この賞は今年で3回目。全道から10団体が選考・推薦され、全日本剣道連盟の選考委員会の審査を経て最終決定されるものです。

追分昇龍館は、平成6年に創立し今年で13年目。「礼義・作法」と「正しい剣道の普及」、「周りの人への感謝」などを指導方針として、児童・生徒の健全育成を目的に活動してきました。平成10年と平成16年に全国中学生剣道大会女子団体の部や、平成19年全国ス



ポーツ少年団剣道大会女子個人の部に出場のほか、道内の多くの大会で優秀な成績を収めています。

館長の坂本さんは、「一生懸命続けてきて良かった。他の道場は何十年もの長い歴史がある中で、歴史の浅い当道場が受賞できたことは、大変名誉なことで、これからも頑張って地域に貢献していきたい。」と抱負を語ってくれました。

しかし一方では「10年くらい前には50人以上いた子どもたちが、今では10数名程になり、もっと日本古来の文化であり武道である剣道をする子が増えてほしい。」と、ちょっぴり寂しそうでした。